

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2022年 第40週（10月3日～10月9日）

## ★季節性インフルエンザの予防接種のご検討をお願いします！

インフルエンザワクチンの接種を希望される方は、あらかじめ医療機関にお電話等ご連絡いただき予約、確認をお願いいたします。

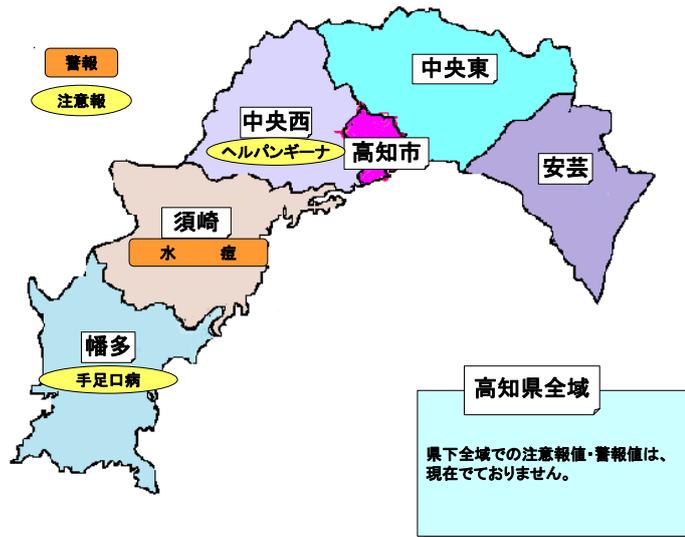
## ★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増    ↗：増加    →：横ばい    ↘：減少    ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
RSウイルス感染症	↗	4.15	中央西で減少していますが、須崎、安芸で急増、県全域、高知市、幡多で増加しています。
感染性胃腸炎	→	1.48	中央東で減少していますが、高知市、安芸で増加しています。
手足口病	↗	0.85	中央東で減少していますが、幡多、須崎で急増、県全域で増加し、幡多では注意報値を超えています。
水痘	↑	0.48	県全域、須崎、幡多、高知市で急増し、須崎では警報値を超えています。
突発性発疹	↗	0.41	安芸、中央西で急減していますが、須崎、中央東で急増、県全域、高知市で増加しています。

## ★地域別感染症発生状況



## 【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

### 咳エチケット

- ・普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- ・咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

- ① 鼻と口の両方を確実に覆う
- ② ゴム紐を耳にかける
- ③ 隙間がないよう鼻まで覆う



## ★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

### ○RSウイルス感染症に気を付けて！

この病気は2日～1週間（通常4～5日）の潜伏期間の後に、軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）に初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多いため、気が付かずに感染源となることがあります。また、高齢者では急性の、しばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、長期療養施設では集団発生への注意が必要です。

早産児や慢性呼吸器疾患を有するハイリスクな乳幼児の重症化を予防する方法として、パリビズマブ（抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体）の投与があります。（本剤の添付文書では、投与に際しては学会等から提唱されているガイドライン等を参考とし、個々の症例ごとに本剤の適用を考慮することとされており、保険適用となっています。）

また、同じ呼吸器感染症でヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症があります。

定点医療機関からのホット情報では、hMPVによる感染症が中央東3例、高知市3例、幡多18例の合計24例報告されており、年齢別にみると4か月から5歳で発症しています。

高齢者等成人に感染することもあり、流行時期には高齢者施設等での集団発生も散見されていますので注意してください。有効なワクチンが無いことから、感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用、接触感染対策が大切です。



#### <予防方法>

- ・現在、ワクチンはありません。
- ・咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

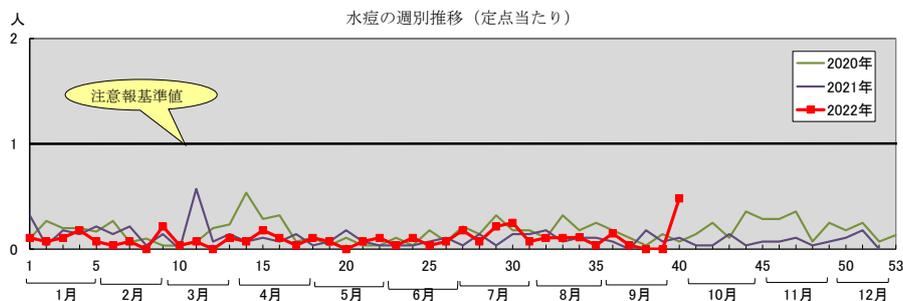
### ○水痘に気を付けて！

県内一部の地域で警報値を超えるなど流行の兆しがみえています。

水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症で、一般には「みずぼうそう」と呼ばれています。

感染力は強く、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる空気感染や飛まつ感染、水疱や粘膜の排出物に接触することによる接触感染により感染します。

潜伏期間は2～3週間程度で、軽症で終生免疫（一度の感染で生涯、その感染症にはかからない）を得ることが大半ですが、成人では髄膜炎や脳炎などの合併症の頻度が高くなるなど、重症化することもあります。またウイルスが治癒後、体内に潜伏しており、何年も経て「帯状疱疹」として再発することもあります。



#### <予防方法>

有効な予防対策は予防接種です。2014年10月1日から水痘ワクチンが定期接種となっています。

また、水痘患者に接触した場合でも、72時間以内にワクチンを接種すれば発病を予防したり、症状を軽減することが期待できるとされています。

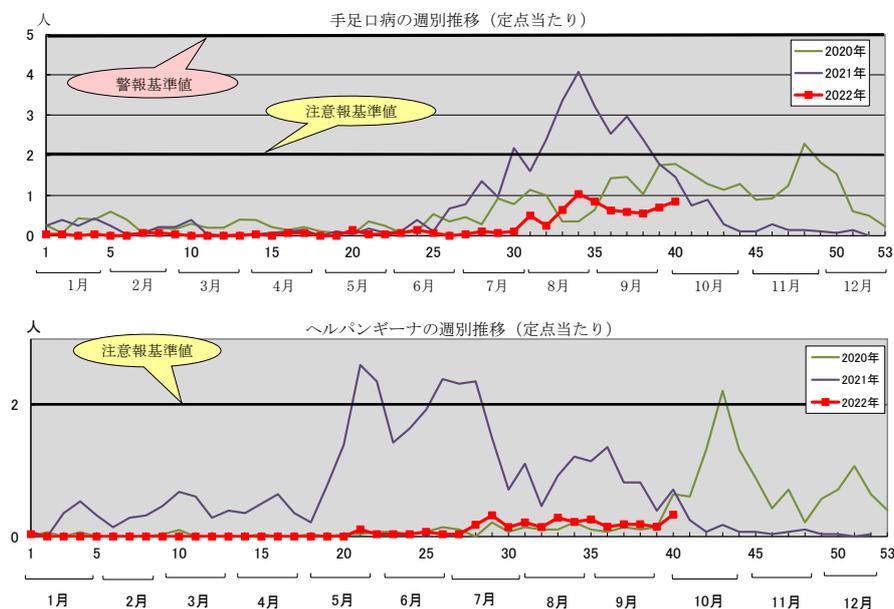
## 【学校感染症】

水痘（みずぼうそう）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「すべての発疹が痂皮化するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

### ○夏型感染症（手足口病・ヘルパンギーナ）の発生が継続！

例年、6月頃から報告数が増えはじめ7～8月頃にピークを迎える夏型感染症の報告が継続しているので注意しましょう。

これらの病気は、経口・接触感染、咳やくしゃみによる飛沫感染で感染します。症状は、発熱、咽頭痛に加え水泡性発疹がみられます。両疾患の原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層である5歳以下の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。また、特異的な治療がないため対処療法となります。安静にし、十分な水分補給を行ってください。



### <予防方法>

- ・流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。
- ・タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。

## 【学校感染症】

手足口病は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身症状が改善すれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

ヘルパンギーナは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身症状が改善すれば登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

## ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱）に注意！

第40週に高知市保健所と幡多保健所から「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」の発生届が各1例、高知市保健所から「日本紅斑熱」の発生届が1例ありました。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かくなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html)
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

### ★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	53	70 歳代 女性	安 芸
		1		70 歳代 男性	高知市
		1		70 歳代 女性	
		1		80 歳代 女性	中央西
4 類	重症熱性血小板減少症候群	1	6	70 歳代 女性	高知市
		1		60 歳代 女性	幡 多
	日本紅斑熱	1	10	80 歳代 女性	高知市
5 類	後天性免疫不全症候群	1	3	70 歳代 男性	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	おひさまこどもクリニック	サルモネラ腸炎 1 例 (4 か月男) hMPV 感染症 1 例 (3 歳男)
	高知大学医学部附属病院小児科	RS ウイルス気管支炎 2 例 (2 歳男、11 歳男) RS ウイルス細気管支炎 1 例 (1 歳女) RS ウイルス気管支炎+クループ症候群 1 例 (4 歳男) RS ウイルス気管支炎+熱性けいれん 1 例 (2 歳女)
	早明浦病院小児科	RS ウイルス感染症 5 例 (1~2 歳：管内保育園)
	JA 高知病院小児科	hMPV 気管支炎 2 例 マイコプラズマ気管支炎 3 例 RS ウイルス気管支炎 6 例 サルモネラ腸炎 1 例
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス 7 例 (3 か月男、8 か月男 2 人、1 歳男、1 歳女 2 人、2 歳男)
	けら小児科・アレルギー科	RS ウイルス気管支炎 23 例 0 歳 2 人、1 歳 10 人、2 歳 3 人、3 歳 7 人、4 歳 アデノウイルス咽頭炎 1 例 (4 歳) hMPV 気管支炎 2 例 (4 歳、5 歳)
	三愛病院小児科	hMPV 1 例 (4 か月男)
	福井小児科・内科・循環器科	手足口病 3 例 溶連菌感染症 1 例
中央西	日高クリニック	帯状疱疹 2 例 (71 歳男、93 歳女)
須崎	大西病院小児科	水痘 8 例 (7 歳、8 歳：管内の小学校で流行している)
	もりはた小児科	単純ヘルペス 1 例 (11 歳：コロナワクチン接種後出現) インフルエンザ B 型 3 例 (兄弟フィリピンから帰国した父から感染)
幡多	こいけクリニック	hMPV 肺炎 2 例 (2 歳男、3 歳女)
	さたけ小児科	手足口病 9 例 (1~3 歳) hMPV 7 例 (1~3 歳) COVID-19 2 例 (9 歳 2 人)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 9 例 (1~5 歳)

★県外で注目すべき感染症

○無料の風しん抗体検査を実施しています

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかること、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。風しんの予防には、ワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは抗体検査で確認することができます。赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種をうけることをご検討ください。

風しんは、今は成人に多い病気で、特に 10 代後半から 50 代前半の男性、20 代から 30 代の女性が多く発病しています。

特に昭和 54 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日生まれの男女は予防接種の接種率が低く、昭和 54 年 4 月 1 日以前生まれの男性は子どもの頃に予防接種を受けるチャンスがありませんでした。このことから、風しんの追加対策として、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性には 2023 年 3 月 31 日までの間、無料の抗体検査及び予防接種（抗体検査で陰性の方を対象とする）が受けられるクーポン券が住民票のある市町村役場から発行されます。対象者の方は、まずは抗体検査の実施をお願いいたします。クーポン券の発行等についてはお住まいの市町村役場にお問い合わせください。

【無料の風しんの抗体検査について】

**対象者**・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

**検査受付**：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

**検査結果**：検査後 1~2 週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

- 厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html)
- 無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>
- 風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け）<https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>
- 風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

★高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県の新型コロナウイルス感染症陽性者数

日付		陽性者	フォローアップセンター	死亡者
9/12	月	241		3
9/13	火	816		2
9/14	水	758		4
9/15	木	514		1
9/16	金	446		1
9/17	土	408		0
9/18	日	311		0
9/19	月	190		2
9/20	火	148		2
9/21	水	601		2
9/22	木	487		0
9/23	金	331		0
9/24	土	178		0
9/25	日	330		0
9/26	月	176		0
9/27	火	318	0	1
9/28	水	214	31	0
9/29	木	187	29	0
9/30	金	173	27	0
10/1	土	152	28	0
10/2	日	106	23	1
10/3	月	60	21	1
10/4	火	245	28	1
10/5	水	176	43	0
10/6	木	161	32	0
10/7	金	146	34	1
10/8	土	124	27	0
10/9	日	105	28	1
総計		101,537	351	299

総計はR2年2月28日以降の報告者数

※県の発生状況公表内容に変更があったので、週報での公表も変更させていただきました。

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2022年10月11日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報  
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(56定点医療機関)

定点名	疾病名	第40週 令和4年10月3日(月)～令和4年10月9日(日)							高知県衛生環境研究所			
		保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(39週)	高知県(40週末累計) R4/1/3～R4/10/9
インフルエンザ	インフルエンザ							3 ( 0.07 )	( )	51 ( 0.01 )	17 ( 0.37 )	2,170 ( 0.44 )
小児科	咽頭結核熱				1			1 ( 0.04 )	2 ( 0.07 )	168 ( 0.05 )	282 ( 10.07 )	21,103 ( 6.72 )
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				2			2 ( 0.15 )	5 ( 0.19 )	1,030 ( 0.33 )	243 ( 8.68 )	37,399 ( 11.92 )
	感染性胃腸炎	4	6	22			8	40 ( 1.48 )	36 ( 1.33 )	6,306 ( 2.01 )	2,907 ( 103.82 )	477,654 ( 152.22 )
	水痘				1		11	1 ( 0.48 )	( )	191 ( 0.06 )	108 ( 3.86 )	8,635 ( 2.75 )
	手足口病		2		10		1	10 ( 0.85 )	19 ( 0.70 )	6,218 ( 1.98 )	216 ( 7.71 )	129,587 ( 41.30 )
	伝染性紅斑							( )	( )	26 ( 0.01 )	19 ( 0.68 )	1,499 ( 0.48 )
	突発性発疹		2		8		1	11 ( 0.41 )	7 ( 0.26 )	844 ( 0.27 )	351 ( 12.54 )	37,201 ( 11.86 )
	ヘルパンギーナ		1		2	5		1 ( 0.33 )	4 ( 0.15 )	1,411 ( 0.45 )	87 ( 3.11 )	29,564 ( 9.42 )
	流行性耳下腺炎							( )	( )	113 ( 0.04 )	21 ( 0.75 )	3,590 ( 1.14 )
	RSウイルス感染症	2	12	67	4	9	18	112 ( 4.15 )	69 ( 2.56 )	3,705 ( 1.18 )	642 ( 22.93 )	91,055 ( 29.02 )
眼科	急性出血性結膜炎						( )	( )	7 ( 0.01 )	( )	( )	128 ( 0.19 )
	流行性角結膜炎						( )	( )	116 ( 0.17 )	16 ( 5.33 )	4,627 ( 6.70 )	
基幹	細菌性髄膜炎						( )	( )	5 ( 0.01 )	5 ( 0.63 )	224 ( 0.47 )	
	無菌性髄膜炎						( )	( )	13 ( 0.03 )	( )	308 ( 0.65 )	
	マイコプラズマ肺炎				1		1 ( 0.13 )	( )	5 ( 0.01 )	6 ( 0.75 )	247 ( 0.52 )	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)						( )	( )	( )	( )	25 ( 0.05 )	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)						( )	1 ( 0.13 )	4 ( 0.01 )	9 ( 1.13 )	84 ( 0.18 )	
計 (小児科定点当たり人数)	6 ( 3.00 )	23 ( 3.29 )	114 ( 12.54 )	9 ( 4.50 )	27 ( 12.75 )	38 ( 7.60 )	217 ( 7.96 )			20,213	4,929 ( 174.52 )	845,100
前週 (小児科定点当たり人数)	5 ( 2.50 )	27 ( 3.85 )	70 ( 7.67 )	8 ( 4.00 )	3 ( 1.50 )	30 ( 6.00 )		143 ( 5.26 )				

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	第40週							高知県衛生環境研究所			
		保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(39週)	高知県(40週末累計) R4/1/3～R4/10/9
インフルエンザ	インフルエンザ							0.07		0.01	0.37	0.44
小児科	咽頭結核熱				0.11			0.04	0.07	0.05	10.07	6.72
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				0.22			0.15	0.19	0.33	8.68	11.92
	感染性胃腸炎	2.00	0.86	2.44				1.60	1.48	2.01	103.82	152.22
	水痘				0.11			0.20	0.48	0.06	3.86	2.75
	手足口病		0.29		1.11			2.00	0.85	1.98	7.71	41.30
	伝染性紅斑									0.01	0.68	0.48
	突発性発疹		0.29		0.89			0.50	0.41	0.27	12.54	11.86
	ヘルパンギーナ		0.14		0.22	2.50		0.20	0.33	0.45	3.11	9.42
	流行性耳下腺炎									0.04	0.75	1.14
	RSウイルス感染症	1.00	1.71	7.44	2.00	4.50	3.60	4.15	2.56	1.18	22.93	29.02
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.19
	流行性角結膜炎									0.17	5.33	6.70
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.63	0.47
	無菌性髄膜炎									0.03		0.65
	マイコプラズマ肺炎				0.20			0.13		0.01	0.75	0.52
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.05
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								0.13	0.01	1.13	0.18
計 (小児科定点当たり人数)	3.00	3.29	12.54	4.50	12.75	7.60	7.96				174.52	
前週 (小児科定点当たり人数)	2.50	3.85	7.67	4.00	1.50	6.00		5.26				



# 病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

## 高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2022年 第40週)

